

技術・家庭科学習指導案

指導者 福山市立済美中学校 教諭 重光 良美

- 1 日 時 平成23年11月2日(水) 第2校時(10:00~10:50)
- 2 場 所 福山市立済美中学校 被服室
- 3 学 年 福山市立済美中学校 第2学年(男子19名 女子19名 計38名)
- 4 内 容 衣生活・住生活と自立
- 5 題 材 オリジナルの「エコ」バックをつくってみよう!

6 題材設定の理由

(1) 題材観

新学習指導要領において、【内容C(3)ア】では、「布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること」をねらいとしている。裁縫の機会が少ない中学生の生活実態を踏まえ、生徒の個性や工夫が生かせるよう、製作したバックにアレンジを加えることのできる題材を選んだ。

本題材は、地域の地場産業に触れたり、衣服のリサイクルなど循環型社会について関連付けて考えたりすることのできるものである。福山産の備後緋とデニムについての学習を取り入れ、バックにデニムの生地を使用することとした。また、アレンジの仕方は、手縫いの技術を生かせるものや、備後緋や使わなくなった衣服、ハギレなどを用いながら工夫していくこととした。物を大切にし、完成後に活用することにより自分や家族の生活が豊かになるような「ものづくり」を目指している。

(2) 生徒観

本題材を学習するにあたって、市内3校で次のようなアンケートを行った。【回答数284名(本校生徒132名)】

	とても好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
ものづくりが好きですか	23.5% (22.0%)	47.0% (47.7%)	19.7% (21.2%)	9.8% (9.1%)
布を使ったものづくりが好きですか	14.5% (12.1%)	37.6% (39.4%)	29.1% (28.0%)	18.8% (20.5%)
	ある	ない		
家庭で裁縫をする機会がありますか	41.0% (38.6%)	59.0% (61.4%)		
布を使って何かつくったことがありますか	95.7% (94.7%)	4.3% (5.3%)		
布を使って、元の形を自分でアレンジして、着たり使ったりしたことがありますか	6.4% (8.33%)	93.6% (91.7%)		

アンケート結果から、ものづくりが好きな生徒は多いが、技術が伴わない、時間をかけることができないなどの理由から布を用いたものづくりが好きな生徒の割合は減少している。「エプロン」、「ナップザック」などの小学校の家庭科での製作の経験はあるが、家庭での裁縫の機会は少ない。(「ない」と答えた生徒は59.0%であった。) アレンジについては、興味があると答えた生徒は32.9%であったが、実際にアレンジをしたことがある生徒は6.4%であった。

また、福山産の「備後緋」や「デニム」について質問したところ、本校生徒においては「備後緋」について「知っている」と答えた生徒は 9.1%であった。備後緋発祥の地にある福山市立芦田中学校においては、「備後緋」を知っている生徒は 67.7%であった。

生徒は布を用いた物の製作や個性を活かす工夫をした経験が少ないという課題が明らかになった。

(3) 指導観

本題材では、既習事項を活かし、自分で製作したものに工夫を加えることで愛着を持って大切にできるように指導する。そこで、次のような点に重点をおく。

- ① 備後緋とデニムの歴史を学ぶことで地場産業に興味を持たせる。さらに、品質の良い地元業者の生地を使用することで、製作への関心を高める。
- ② 製作のイメージを膨らませるために、教材見本を用意し、生徒の創意・工夫を引き出す。
- ③ 製作を通して、手縫いやミシン縫いなどの基本的な技術を習得させる。
- ④ 愛着を持てる物を長く使うことが、省資源化につながることに気付かせる。
- ⑤ 手作りの良さやアレンジの楽しさを感じさせる。

7 題材の目標

備後緋や地場産業に関心を持ち、布を用いたバッグの製作に意欲的に取り組み、基礎的・基本的な知識と技能を習得し、衣生活を豊かにするための工夫ができる。 新学習指導要領 C (3) ア

8 指導計画 (12 時間)

(関) 生活や技術への関心・意欲・態度 (工) 生活を工夫し創造する能力 (技) 生活の技能 (知) 生活や技術についての知識・理解

程 指導内容	学習指導過程		課題づくり	計画の立案	実践	評価
	指導内容	時間				
衣 生 活 ・ 住 生 活 と 自 立	福山の備後緋・デニムについて知ろう	1	・福山の伝統に興味をもってみよう。	・備後緋・デニムの生地について知る。	・備後緋やデニムの歴史について映像や実物を通して知る。	・布を用いた小物の製作に向けて、興味・関心を持って話を聞こうとしている。(関)
	ミシンを使ってバッグをつくってみよう	1	・バッグの成り立ちを知ろう。	・バッグの成り立ちを知り、しるしつけをする。	・つくり方やマチについて知り、しるしつけをする。	・立体のつくり方を理解している。(知) ・しるしつけができる。(技)
		4	・ミシンを使ってバッグが製作できるようになる。	・ミシンの正しい使い方を知る。 ・縫う順序を理解する。わき→持ち手→マチ	・ミシンの糸かけ・調節をペアで確認しながら行い、製作をする。	・用具の安全な取り扱い理解し、自分でミシンの糸かけ・ミシン縫いができる。(技) ・適切に材料と用具の選択することができ、製作手順や用具の安全な使い方を理解している。(知)

製作したバッグにオリジナルのアイデアをいれよう	1	・オリジナルの「エコ」バッグをつくってみよう。	・資源を大切にすることや生活を豊かにするためのアレンジを考える。	・オリジナルのバッグの計画を立て、生徒同時で相互評価を行う。	・相互評価や既習事項を生かしてデザインを工夫している。 (工)
	3	・基礎縫いの技術を使ってみよう。	・これまで習った技術を利用してバッグをアレンジする。	・不要になった材料を用いてアレンジをする。	・基礎縫いの技能を生かすことができる。 (技)
オリジナル「エコ」バッグをみんなに披露しよう 本時1/2	2	・オリジナル「エコ」バッグの「自分らしさ」を伝えよう。	・工夫した点を、アピールカードを使って言葉で表現する。	・班の中で自分の工夫した点を紹介しよう。	・製作したバッグに愛着を持ち、自信を持って工夫したところを人に伝えようとしている。 (関)

9 本時の学習

(1) 学習課題

備後緋などの材料の良さを再確認し、オリジナルの「エコ」バッグにするために、工夫した点を人に語るができる。

(2) 学習目標

自分や他の人の作品を評価しあうことで、作品の良さを見つけ、生活に活かせる手作りに対する意欲を高める。

(3) 学習指導における仮説

- ① 備後緋などの材料の良さを再確認することによって、作品の工夫点も人前で自信を持って発表できるだろう。
- ② 不要になった材料を使って製作したり、地場産業に触れたりすることによって、日常生活での視野が広がり、生活をさらに豊かにすることができるだろう。

(4) 本時の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度

製作したバッグに愛着を持つことができ、自信を持って工夫した点を伝えることができる。

10 展開

過程	学習活動	学習活動の支援・説明・評価	教材・教具
課題作り	○前時の学習を思い出す。 ○本時の目標を知る。 オリジナル「エコ」バッグの「自分らしさ」を伝えよう。	・福山産のデニムを用いた「エコ」バッグを製作したことを振り返る。 ・「エコ」として、買い物袋の代わりに使うことだけでなく、ハギレなど使用することやバッグを長持ちさせることで資源を大切にすることを振り返る。例を提示する。 ・振り返りとして備後緋についてのスライドを視聴させる。 ・備後緋の良さや地場産業の良さを改めて感じさせる。 【活動指示】 「オリジナル『エコ』バックの“自分らしさ”を人にアピールしてみよう」	・生徒が製作した「エコ」バッグ ・キーワードを記入したカード ・スライド ・緋に関する資料(実物など)

計 画 の 立 案	<p>○「エコ」の視点を取り入れたオリジナルのバッグのデザインについてアピールを考える。</p> <p>＜個人活動＞</p>	<p>【活動指示】</p> <p>「自分にしかない工夫点をカードに書いてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人にはない、オリジナルポイントをアピールするよう指示する。 ・自分の工夫した点を「アピールカード」に書かせる。 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アピールポイント」を振り返らせ、自分が取り組んできたことを確認させる。「アピールポイント」は主に次の4点とする。 ①工夫した「自分らしさ」を書こう。 ②これまで習った技能をどのように活かしたか。 ③備後緋や着なくなった衣服をどのように活かしたか。 ④「自分や家族とのつながり」をどのように活かしたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・アピールカードを発表原稿用に工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アピールカード
実 践	<p>○班の中で自分の工夫した点を紹介しよう。＜班活動＞</p> <p>○お互いの良さを発見するため、相互評価を行う。</p> <p>＜班活動＞</p> <p>○班で話し合ったことをまとめる。</p> <p>○全員の前で発表しよう。＜全体活動＞</p>	<p>【活動指示】</p> <p>「工夫した点を班の仲間に紹介しよう」  言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールカードに記入したことをわかりやすく伝えさせる。 「班内でお互いの良さを見つけあってみよう」 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールカードを読み合い、班内で一つ最も「自分らしさ」が活かされたバッグを選ばせる。 ・発表用紙にその作品の「良い点」「プラスアイデア点」を書かせる。 ・「自分らしさ」を肯定的に受け止めるよう指示する。 <p>【活動指示】</p> <p>「話し合ったことをまとめてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表時に掲示ができるよう大きく書かせ、貼れるようにする。 <p>【活動指示】</p> <p>「全体の前で発表してみよう」  言語活動の充実</p> <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールする人と班の意見を言う人の2名ずつで発表させる。 ・発表時の留意点を伝える。(結論先行・声の大きさ・目線など) <p>【評価】 生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>●発表・ワークシートへの記入状況</p> <p>A：4つのポイントを多様に活用し、さらに自分らしくアレンジしたことを伝えている。</p> <p>B：備後緋や着なくなった衣服を活用し、自分らしくアレンジしようと工夫したことを伝えている。</p> <p>【支援】</p> <p>C：ポイントや材料についての学習を振り返らせ、工夫した点を考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アピールカード ・生徒作品 ・発表用紙 ・マグネットホワイトボード ・マジック
評 価	<p>○本時の振り返り</p> <p>○次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分らしさ」を伝えることができたか、他の人の「良さ」を見つることができたか、自己評価により振り返らせる。 ・次時では、身近にできるアレンジなどを紹介して、様々なものに工夫をすることや物を大切にすることで生活を豊かにすることを考えていくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・アレンジ材料

